

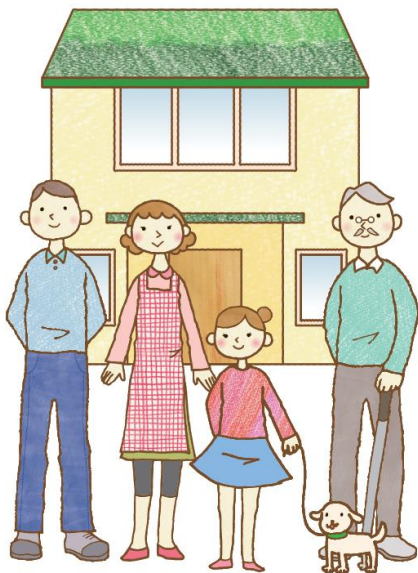
わが家の災害対応 ワークショップ

～ 今、考えよう！「わが家流」の災害への備え ～

避難所はどこ？

家族と連絡を
どうやってとろう？

備蓄品は何を
準備しよう？



漠然と不安はあるけれど、
何かから手を付ければ
いいのか分からない...

参加者
募集中
予約制

日時

2019年 2月 9日 (土)

13:30～15:00

会場

市健康医療介護総合支援センター

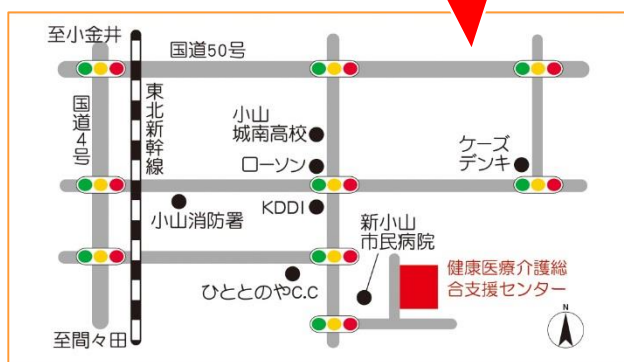
住所：小山市大字神鳥谷2251番地7
(新小山市民病院東側)

参加費

無料

持ち物

筆記用具



講師

PEACE
BOAT

一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター

ご予約・お問合せはコチラ

社会福祉法人 小山市社会福祉協議会 (神鳥谷9 3 1 番地 3)

☎ 0285-22-9501

(8:30-17:15/土日祝定休)

※ 2月1日(金)締切

「わが家の災害対応ワークショップ」とは？



防災に関する情報は、様々な機関から多く提供されています。しかし、私たちはどれほどそれらの情報を活用できているのでしょうか。

「わが家の災害対応ワークショップ」では、家族のライフスタイルや自宅の状況、地域の特性に合わせて、被災した状況をイメージしながら、具体的に「わが家」で役に立つ災害対応や備えを考えます。

ワークショップ内容（実施時間：90分）

「わが家の災害対応ワークブック」（小冊子）を使い、グループに分かれて各家庭に必要な災害対応や備えを検討します。

災害が自分自身や家族に降りかかった場面を想定し、遭遇する出来事や疑問、困難を自分自身で見つけ出し、家族で話し合うべきことや備えに必要なことを学びます。

| | |
|--------------------------------|---|
| <第1部> 身のまわりを知る | 家族の日常生活や、自宅に潜んでいる危険性を確認する。また、被害想定や避難所の場所など、地域の特性を考える。 |
| <第2部> イメージする | 自分自身や家族が被災した状況を想定し、発災から72時間以内起こるであろう出来事を考える。状況を具体的にイメージしながら、疑問や困難を見つけ出す。 |
| <第3部> 対応を考える | 災害時に必要となる基本的な対応方法や知識の情報提供を行う。また、各家庭に必要な備えや対応を考える。家に帰ってから家族で話し合うべきことを確認する。 |



参加者の声



あっという間の1時間半でした。きちんと見直すべきこと、予想してみるとやるべきことに次々と気が付きます。家族とシェアしたいと思います。（40代女性、会社員）



改めて、地震に対する対策を考え直そうと思いました。防災マップを確認し、非常食の準備などを家族とやりたいです。学校の授業でこのように災害に対して考えるのは大事なことだと思いました。（20代男性、学生）



災害時に、どんな困難が生じ、どんな準備が必要かを具体的にイメージすることができた。同じマンション内で課題を共有できたことも良かった。（60代男性、会社員）



自宅の内装、周辺について考えるいいきっかけになりました。（20代女性、会社員）